

教科	科 目	単位数	学年・クラス
保健体育	体育	2	1年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	現代高等保健体育 改訂版
出版社	大修館
副教材等	現代高等保健体育ノート
出版社	大修館書店

2 学習の目標

- 1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。
- 2 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たすなど、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するとともに健康・安全を確保している。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	A	A	授業態度や課題解決の達成状況など
実技	A	B	A	実技の個人記録など
学習の記録	B	B	A	自己評価・相互評価など
定期考査	A	A	B	体育理論小テストなど

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	体づくり運動 球技（バレーボール・バドミントン・テニス・卓球・ソフトボール） 個人的技能 集団的技能 ゲーム・審判法 水泳 スキルテスト 体育理論 スポーツの発祥と発展	仲間と協力して互いに思いやりながら進んで運動に取り組む姿勢を身に付ける。 個人的技能を身に付ける。 自己の役割を理解し、互いに協力しながら集団的技能を身に付ける。 ゲームでは、ルールや審判法を理解し、勝敗や結果を素直に受け入れる態度を身に付ける。 自己の能力に応じて速く泳いだり、続けて長く泳いだり、競泳をしたりする水泳の楽しさを味わう。 スポーツの始まりと変遷について学ぶことができる。
2 学期	ダンス（現代的なリズムのダンス） 球技（サッカー・バスケットボール・ソフトボール・バドミントン・卓球） ゲーム・審判法 スキルテスト 陸上競技（長距離走） 球技（サッカー・バスケットボール・ソフトボール・バドミントン・卓球） 体育理論 スポーツの発祥と発展	リズムの取り方、動き方など相手や仲間と調子を合わせて、関わりを持って踊ろうとする姿勢を身に付ける。 個人的技能・集団的技能を身に付ける。 チームとしての連携を通して自己の役割を理解し、ゲームに生かせるようになる。 ゲームでは、ルールや審判法を理解し、勝敗や結果を素直に受け入れる態度を身に付ける。 自己の能力に応じた目標を定め、その解決を目指して練習する。 オリンピック、パラリンピックについて理解する。
3 学期	球技（サッカー・バスケットボール・ソフトボール・バドミントン・卓球） ゲーム・審判法 スキルテスト 体育理論 スポーツの発祥と発展	身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり、新たに身に付けた技能で攻防を展開してゲームができるようにする。 練習やゲーム場所の安全を確かめ、危険なプレイをしないなど、健康・安全に留意する態度を身に付ける。 スポーツの高潔さとドーピングについて理解する。